



保護者のみなさまへ

校長・准校長だより

令和7年1月20日 No.10

大阪府立西浦支援学校

校長 山崎 彩

准校長 鈴木 亮彦

ほんねん ねが
本年もよろしくお願ひいたします

ふゆやす お こ げんき こえ かかや えがお がっこうじゅう あたら とし むか あら
冬休みが終わり、子どもたちの元気な声と輝く笑顔が学校中にあふれています。新しい年を迎え、また新たな一歩を踏み出したことを心から嬉しく思います。

ことし こ ぶんしん たの すご まな や つづ ひ つづ あたた
今年も、子どもたちが安心して、そして楽しく過ごせる学び舎であり続けるよう、引き続きみなさまの温かいご理解とご協力を、心よりお願ひ申し上げます。

さて、巳年にちなんで、蛇が脱皮を繰り返すように、今年はいままでの努力が実を結び始める年だと言われています。また、変化に対して前向きな気持ちを持つことが大切だとも言われています。毎日の小さな一歩が、確実に成長へとつながります。

子どもたちが自分の頑張りを振り返りながら、これから挑戦したいことを考え、新しい生活や学年に向けて少しずつ準備を進めることができるよう、保護者のみなさまとともに温かく見守り、支えていきたいと思ひます。



12月13日(金) 府立支援学校PTA協議会 対府懇談会報告

おおさかふ ち じぶきょく きょういっくちょう こんだんかい かくこう かいちやう いちどう かい こ きょういっかんきやう せいかつ
大阪府(知事部局、教育庁)との懇談会では、各校の会長が一堂に会し、子どもたちの教育環境や生活がより充実したものとなるよう、要望書をもとにやりとりを行いました。本校PTA会長からは、昨年に引き続き、適正な通学区域割と卒業後の放課後等デイサービスに代わる事業等について現状を伝えるとともに、実現に向けて意見交換を行いました。参加された各校のPTA会長からは「異なる障がい種の意見や実情を聴くことができる貴重な場である」「子どもたちを思う保護者の切なる要望やそれらに対する府の回答を聴く機会に初めて参加することができて良かった」などの意見も聞かれました。要望の中にはすぐに改善や解決をすることが難しいものがありますが、懇談会が今後のより良い制度に繋がることを期待したいと思ひます。

[大阪府立支援学校 PTA 協議会 要望書](#) ← 要望書の全文を確認いただけます。

1月17日(金) 府立支援学校PTA協議会 冬季研修会報告

こんねんど どうきけんしゅうかい ふくし ぼうさい たす とくべつしえんがっこう ちゅうしん お
今年度の冬季研修会は「福祉×防災×コミュニティみんなで助かるために 特別支援学校を中心に置いた福祉防災の全体像」と題し、一般社団法人福祉コミュニティ協会 理事の湯井恵美子様にご講演をいただきました。これまでに発生した大災害の状況から縁故(親戚、仲間等)避難場所の確保や PTA のネットワークの大切さ、支援学校の整備、電源とトイレ(1週間分以上)の確保の重要性を改めて教えていただきました。

また、支援が必要な人も支援をする人もみんなが一緒に助かることが強調され、そのための防災計画の重要性が説かれました。人間の思考の特性には、正常化バイアスがあります。「自分は大丈夫」と都合の悪い情報を無視したり、過小評価せずに考えられる全ての備えをしなければならぬと改めて感じた講演会でした。